

教育振興について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 教育振興の今後の展望について。

答 (教育長)「教育はまちづくり」と言いますが、子育て世代に加西市での教育を選んでもらえる特色ある教育を、本気で実践しなければなりません。加西 STEAM 教育や給食を軸とした食農教育もその一つで、教育のビジョンを表明していく上で、新しい形の教育に挑戦することは大変大事であると思っています。加西市の特色ある教育が多くの市民

の期待に応える魅力あるものとなり、また、実効性のあるものとするために、しっかりとした教職員の人員体制、教育環境を整えていく必要があります。そして、ソフト、ハード両面からの視点で中長期の学校の在り方、ありたい姿を素案に示し、多くの方と意見を交えながら、総合的に、市役所一体となって取り組んでいきたいと考えます。

問 加西 STEAM 教育について。

答 第3期教育振興基本計画の策定を機に、学校教育を中心として加西 STEAM 教育を中核に置いた教育の振興を重点施策にしています。科学の S、技術の T、工学の E、芸術・教養の A、数学の M の5つの要素の頭文字を取って STEAM と呼んでいます。兵庫県では一部の高校に先行的に導入

されています。

加西 STEAM 教育は、各校の創意工夫によりテーマを設定して展開します。ふるさと創造会議や地元企業の協力を得て進めようとしている学校もあります。教育委員会からも北条高校や播磨農業高校への協力要請、兵庫県教育委員会への支援要請をし、また、兵庫教育大学や岡山大学、さらには STEAM 教育の視点をまちづくりに取り入れている先進市町との協力連携を現在調整しています。県下の小中学校に先駆けて STEAM 教育への取組を推進し、加西市の児童生徒に、AI 時代を生き抜き、探究的な見方や考え方を働かせ、現実的な課題を解決する力を身につけてほしいと考えます。

要望 ICT 活用環境の充実に向け、ICT 技術サポート体制のさらなる強化を求める。

加西の農業の今後について



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 農地の維持、後継者の育成についての市の方針は。

答 「人・農地プラン」の実質化により、集落営農組織や認定農業者への農地集積を図り、若者や女性オペレーターの免許取得の補助を行っています。

また、農家だけで賄えないため、非農家の参加を促し、新規就農者が営農組合・農会の構成員として活躍できるよう助言しています。

問 農作業の省力化・効率化には、ICT 等を活用したスマート農業の推進が重要。加西市をス

マート農業の推進拠点にし、研究も含めて取り組んでいってはどうか。ただし、費用もかかるので、支援制度も充実させてほしい。

答 市内営農組合では水管理システムやドローンを導入しているところもあります。現状では、集落営農組織連絡協議会が先進地を視察し、研究や効果検証を行い、市内に広めることが有効ではないかと考えています。

新技術の導入や省力化については、国・県の補助金の活用、市の機械補助や施設園芸農家向けの環境制御技術導入への支援も行っていきます。

問 鶉野の次世代施設園芸モデル団地を中核とし、「施設園芸のまち」を標榜していくべきでは。また、植物工場の研究をしている市内企業もあるが。

答 植物工場等への法人参入につきまして、市としても積

極的に進めていきたいと考えています。

問 加西市は農業分野の教育・研究機関が集約され、恵まれた環境にある。子供の頃から、農業に特化した人材を育成するプログラムも考えていく必要があるのではないか。

答 (市長) 今そういう質問をされるのが、私としては心外です。本当に一生懸命取り組んでいます。新しい人材も出てきていますので、そんなに悲観的に考えていません。人づくりは大変重要なので、引き続きその視点を持って進めていきたいと思っています。

■その他の質問項目

- ・ デジタル化について
- ・ 鶉野の地域活性化拠点施設について